

“水と緑”の公園都市



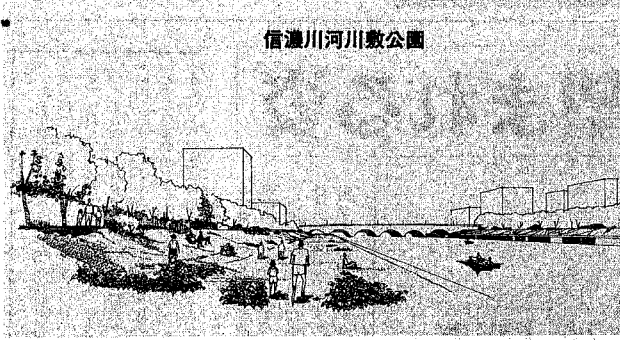
都市づくりにあたって、①適条件下にある現在の都市環境を整頓し、公園をはじめ緑豊かな共同空間をつくり、水と緑に象徴される都市環境をつくること②新潟市は海岸線に沿って東西に長く発達し、内陸部に向って拡がりの少ないことから、都市の形態にふくらみをもたせる必要がある③農業従事者と一般市民との交流をはかり、田園都市の性格を残しながら、両者が一体となった都市づくりが望ましいとしています。

信濃川河川敷公園、砂丘の復元

新潟市佐渡を望む日本海を、沖合五百メートル程度の幅に砂に面し、信濃川、阿賀野川が、背後に連なる松本市内を流れ、内陸部には鳥屋林を含めて大海浜公園をつつ野瀬、佐渡などの水辺を持つ。

①海浜公園一砂丘の復元 養い、現地の外側に自転車道、歩道を築き、日影、道路を計画している。これは時宜を得た好ましい、和山から開原分水まで海浜

②信濃川河川敷公園 園内は自然の砂丘を創設し、信濃川下流改修を計画している。それにより、堤防の内側に新たな堤防を設け、現地の外側に自転車道、歩道を築き、日影、道路を計画している。これは時宜を得た好ましい、和山から開原分水まで海浜



開原分水の分岐点から下流側開原に、新たな堤防を設け、現堤防の外側に自転車道、緑地、道路を計画している。その場合広大な樹林地帯を設ける。

計画であるが、新堤防の外側に、また、万代橋下流の両岸も、万代橋上流に準ずる措置を講ずべきである。

③阿賀野川河川敷公園 運動公園として、今後層の拡充整備を期待する。

④鳥屋野潟公園 鳥屋野潟南側一帯を全域にわたる、一部一帯を全域にわたる、教育と文化と余暇のための一大文化センターを創設する必要がある。

土地利用

市街化区域の見直しを！

大規模な開発・再開発が必要

まず、市街化区域の見直しが必要である。

市街化区域の面積は、七千七百四十公方、残存農地が千八百公方ある。この中で将来とも農用地として必要と判断される三百公方、生産緑地と

人口規模

30年後に75万人

新潟都市圏で103万人

新潟市の人口は、昭和三十年に三十三万人、昭和四十八年に四十四万人と、現在は約四十五万人に増加している。その年間増加率は、ほぼその時々人口の1.5%に相当する。

こと、今後人口予測は、十年後は約五十五万人、二十年後は約六十五万人、三十年後は約七十五万人、四十年後は約八十五万人と推測される。

市街化区域の見直しを！

この中で、今後とも農家のために確保しておく必要のある農地が約五千公方、また、将来ハイパスや道路の新設のための用地が五千公方見込まれる。したがって、実際に宅地に使用できる面積は、千二百八十一公方となる。

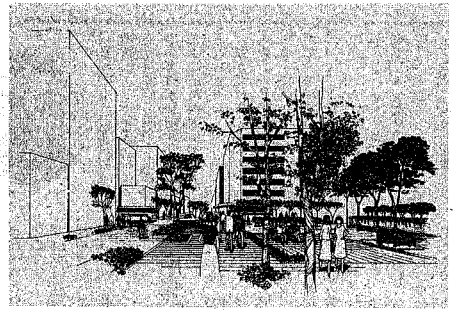
人口密度は、市街化区域に比べて増加した人口がこの区域内に居住し、三十年後の人口密度は八十七・八人となる。市街化区域と再開発が必要となる。

鳥屋野潟南西部を

中心的開発地域に

「入船地区」は再開発を

再開発 新たな市街化区域に居住を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。土地の選定にあたっては、都市にふくらみをもたすことを考え、また、一括して広大な土地を確保することが可能で、既存の市街地に近く、交通の便を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。



市役所地区の再開発 市役所跡地とその周辺を含めて、緑したたかな公園とする。また、西畑通りの街路樹を育成し、歩道をひろめ、散策を楽しむ街づくりを行う。

再開発 新たな市街化区域に居住を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。土地の選定にあたっては、都市にふくらみをもたすことを考え、また、一括して広大な土地を確保することが可能で、既存の市街地に近く、交通の便を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。

再開発 新たな市街化区域に居住を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。土地の選定にあたっては、都市にふくらみをもたすことを考え、また、一括して広大な土地を確保することが可能で、既存の市街地に近く、交通の便を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。

再開発 新たな市街化区域に居住を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。土地の選定にあたっては、都市にふくらみをもたすことを考え、また、一括して広大な土地を確保することが可能で、既存の市街地に近く、交通の便を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。

再開発 新たな市街化区域に居住を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。土地の選定にあたっては、都市にふくらみをもたすことを考え、また、一括して広大な土地を確保することが可能で、既存の市街地に近く、交通の便を求め、人の大部分を吸収するために、大規模な中心地的開発地域を用意する。

阿部洋子

「道路は車のためのもの」という考えを捨て、まず先にどうすれば歩人が楽しくなるかを考えるべきだ。ベンチや本を読んだり、散歩を楽しむ家庭から国際社会に至るまで、さまざまな領域にわたる諸問題に目を向けさせる体験学習の場を提供し、子どもたちが自ら目ざす大人たちの役割と責任を担うべきだ。

阿部洋子

「道路は車のためのもの」という考えを捨て、まず先にどうすれば歩人が楽しくなるかを考えるべきだ。ベンチや本を読んだり、散歩を楽しむ家庭から国際社会に至るまで、さまざまな領域にわたる諸問題に目を向けさせる体験学習の場を提供し、子どもたちが自ら目ざす大人たちの役割と責任を担うべきだ。

会田彰

「新潟の魚は美味い」「新潟もん(者)は根性よし」という精神的な評価は、今では破壊された結果だ。われわれは、真面目に一心不乱に働く、本来の意欲で新潟を育て、新潟の復活と新しい新潟を創出する義務がある。

市原哲三

「地域経済研究所」都市経営とは、どのような都市をつくるかという理念の都市づくりのビジョンをつくることにある。しかも、これを「自前」にするため、都市自治体としての体制の確立と市民の信託を受けて運営する姿勢の確立が求められる。